

- 3 日本列島の周辺では、図1のX～Zの気団が発達したりおとろえたりして、日本の各季節の天気と大きな影響を与えている。図2は、春、梅雨、夏、冬の特徴的な天気図である。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1

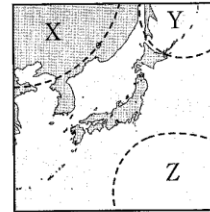
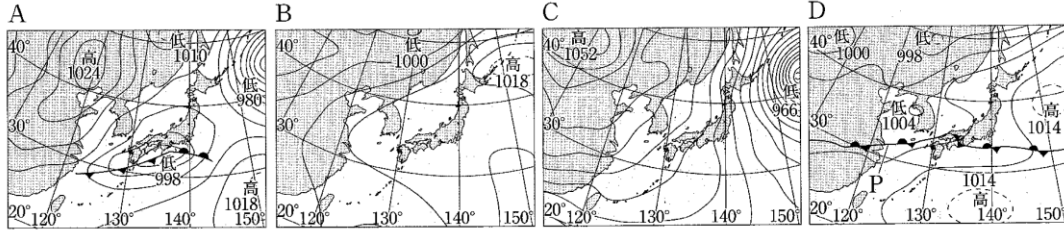


図2



- (1) 次の文は、図2のAの天気図が見られる時期の気象を説明したものである。文中の□にあてはまる語句を、漢字3字で答えなさい。また、{|}にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

図2のAの天気図が見られる時期には、日本列島の上空を、低気圧と①高気圧が交互に

- ②{|ア 東から西    イ 西から東}へ通り過ぎていくため、天気が周期的に変わることが多い。

- (2) 図2のBの天気図について、次の各問いに答えなさい。

- ① 次のうち、図のBの天気図が見られる時期はどれか。最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 春    イ 梅雨    ウ 夏    エ 冬

- ② 次の文は、図のBの天気図が見られる時期に、日本列島付近にふく特徴的な風について説明したものである。文中の{|}にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

大陸は海よりもa{|ア あたたまりやすい    イ あたたまりにくい}ため、図のBの天気図が見られる時期には、大陸の気圧が海よりもb{|ア 高く    イ 低く}なる。そのため日本列島付近には、c{|ア 北西    イ 南東}の風がふく。

- (3) 図1のX～Zの気団のうち、①図2のCの天気図が見られる時期に最も発達している気団はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。また、次のうち、②その気団の特徴はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア 冷たく、乾燥している。    イ 冷たく、湿っている。  
ウ あたたかく、乾燥している。    エ あたたかく、湿っている。

- (4) 図2のDの天気図に見られる前線Pは、図1のX～Zのうちの2つの気団がぶつかり合っできたものである。①2つの気団の組み合わせとして適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。また、②天気図上に——で表される前線を一般に何というか。名称を答えなさい。

ア XとY    イ XとZ    ウ YとZ

- (1) 図2のAは春に見られる天気図で、秋にも見られることがある。  
(2) 図2のBは夏に見られる天気図である。夏は小笠原気団(Z)が発達して日本上空に太平洋高気圧が張り出し、南高北低の気圧配置となって、あたたかい南東の季節風がふく。  
(3) 図2のCは冬に見られる天気図である。冬はシベリア気団(X)が発達して等圧線が南北に密に並び、西高東低の気圧配置となって、冷たい北西の季節風がふく。  
(4) 図2のDは梅雨に見られる天気図である。梅雨の時期は、冷たく湿ったオホーツク海気団(Y)とあたたかく湿った小笠原気団(Z)の間に停滞前線(梅雨前線)ができ、雨や曇りの日が続く。

|     |       |               |    |
|-----|-------|---------------|----|
| (1) | ① 移動性 | ② イ           | 12 |
| (2) | ① ウ   | ② a ア b イ c イ | 13 |
| (3) | ① X   | ② ア           | 14 |
| (4) | ① ウ   | ② 停滞前線        | 15 |